

5 協議—(4)

■第65回道小旭川大会について（12分以内）

・研究大会に対する基本的な考え方について（4分以内）・・・末原

まず、北海道小学校長会教育研究大会に対する基本的な考え方についてご説明いたします。研修部資料35ページをご覧ください。

本資料の1番から4番には、教育研究大会は、図にありますように、「校長の職能向上」と「本道教育の振興」を目的とした道小研究・研修活動の中核を担うものです。研究大会は、北海道小学校長会が主催し、開催地区は、5ブロックがもちまわりとし、大会運営は、主管する地区校長会が行います。本資料の5番から10番には、副主題とその趣旨、大会主題・研究課題の趣旨等の作成と決定について、大会テーマの作成・決定について、分科会の研究発表・協議・運営についてなどの手順が書かれております。また、大会参加期待数の割合など、基本的な考え方が書かれておりますのでご確認ください。

また、これまで、北海道小学校長会では、「分科会の充実こそが最大のおもてなし」を合言葉に、参画型・視覚型の分科会運営の工夫により討議の活性化を図ってまいりました。次年度、新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで出るか予測は困難ですが、研修の充実を図るために、道小事務局と現地実行委員会が十分に連携をとりながら大会の準備を進めてまいります。

分科会の充実に関わって、1点お願いがございます。

各分科会の研究発表の充実を図るためには、令和4年度5月に開催する「第1回分科会運営者研修会」から実質的な動きができるような体制が必要です。各地区におかれましては、研究発表者について、可能な限り早めに候補者を決めていただき、研究発表の準備に取り組むことができるようなご配慮をいただければ幸いです。何卒、ご協力くださいますようお願いいたします

続きまして、旭川大会のキャッチフレーズやシンボルマーク等、大会の概要について玉井指名理事から説明していただきます。資料は36・37ページです。